

全国月間火山概況（平成 24 年 7 月）

霧島山（新燃岳）では、今期間、噴火は発生しませんでした。新燃岳の北西数 km の地下深くのマグマだまりへの深部からのマグマの供給は停止し、新燃岳浅部の活動も低下しています。しかし、火口には高温の溶岩が溜まっており、現在でも小規模な噴火が発生する可能性は否定できません。新燃岳火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。火口周辺警報（噴火警戒レベル 3、入山規制）が継続しています。

桜島では、爆発的噴火を含む活発な噴火活動が継続しました。24 日 19 時 15 分には南岳山頂火口で爆発的噴火が発生しました。南岳山頂火口の爆発的噴火は 2011 年 2 月 7 日以来です。昭和火口及び南岳山頂火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒が必要です。火口周辺警報（噴火警戒レベル 3、入山規制）が継続しています。

三宅島では、やや多量の火山ガスの放出が続いています。火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）が継続しています。

十勝岳では、6 月 30 日夜から 7 月 5 日未明にかけて、大正火口付近が夜間に高感度カメラで明るく見える現象が観測されました。この現象は、高温の火山ガスの噴出や硫黄の燃焼によるものと推定されます。この現象に伴い、一時的に、大正火口から噴出した火山ガスが十勝岳北西斜面を流下して山麓の望岳台付近まで達しました。火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められませんが、2006 年からみられている 62-2 火口直下浅部の膨張を示す地殻変動は現在も続いていますので、火山活動の推移に注意してください。噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）が継続しています。

その他の火山の活動状況に特段の変化はありません。

8 月 6 日現在の各火山の噴火警報及び噴火予報等の発表状況は表 1 のとおりです。

表 1 8 月 6 日現在の噴火警報及び噴火予報等の発表状況

| 警報・予報 | 噴火警戒レベル 及びキーワード | 該当火山 |
|----------------------------------|--------------------|---|
| 火口周辺警報 | レベル 3（入山規制） | 霧島山（新燃岳）、桜島 |
| | レベル 2（火口周辺規制） | 三宅島、薩摩硫黄島、諏訪之瀬島 |
| 火口周辺警報及び 火山現象に関する 海上警報 | 火口周辺危険 | 硫黄島 |
| 噴火警報(周辺海域) 及び火山現象に関する 海上警報 | 周辺海域警戒 | 福德岡ノ場 |
| 噴火予報 | レベル 1（平常） | 雌阿寒岳、十勝岳、樽前山、有珠山、北海道駒ヶ岳、岩手山、秋田駒ヶ岳、吾妻山、安達太良山、磐梯山、那須岳、草津白根山、浅間山、新潟焼山、焼岳、御嶽山、富士山、箱根山、伊豆東部火山群、伊豆大島、九重山、阿蘇山、雲仙岳、霧島山(御鉢)、口永良部島、 |
| | 平常 | 知床硫黄山、羅臼岳、天頂山、摩周、アトサヌプリ、雄阿寒岳、丸山、大雪山、利尻山、恵庭岳、倶多楽、羊蹄山、ニセコ、恵山、渡島大島、恐山、岩木山、八甲田山、十和田、秋田焼山、八幡平、鳥海山、栗駒山、鳴子、肘折、蔵王山、沼沢、燧ヶ岳、高原山、日光白根山、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、弥陀ヶ原、アカンダナ山、乗鞍岳、白山、利島、新島、神津島、御蔵島、八丈島、青ヶ島、ペヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、孺婦岩、西之島、海形海山、海徳海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山、三瓶山、阿武火山群、鶴見岳・伽藍岳、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島、西表島北東海底火山、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山 |



図1 噴火警報及び火山現象に関する海上警報発表中の火山

【各火山の活動状況及び予報警報事項】

全国の主な火山の活動状況及び予報警報事項は以下のとおりです。その他の火山については、火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

十勝岳 【噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)】

大正火口付近が夜間に高感度カメラで明るく見える現象が、6月30日(期間外)夜から7月5日未明にかけて観測されました。この現象は火口内での高温ガスの噴出や硫黄の燃焼等によるものと推定されます。これらの現象の前後で、火山性地震の増加や火山性微動は観測されず、地殻変動及び空振データにも特段の変化はありませんでした。

1日午前実施した山麓からの観測や北海道の協力による上空からの観測で、大正火口東壁の一部で従来より温度の高い領域(1)を確認しました。その後の観測(4日、7日、18日の山麓からの観測、8日の火口近傍での観測、20日の国土交通省北海道開発局の協力による上空からの観測)では、大正火口東壁に従来からある噴気孔の周辺に新たに小さな噴気孔が形成されていることを確認しましたが、高温領域(1)は縮小しており、6月30日以前の状態に概ね戻っているものと考えられます。

大正火口の噴気量は、1日朝から2日にかけて一時的に増加し、噴出した火山ガスが十勝岳北西斜面を流れ下りました。1日に実施した火山ガス観測では、二酸化硫黄の平均放出量は一日あたり600トンとやや多い状態でした。3日以降は気象条件が悪かったため火山ガス観測を実施できていませんが、噴気量は減少していることから、大正火口からの二酸化硫黄放出量も減少しているものと考えられます。

62-2火口の噴煙活動には特段の変化はありません。

11日19時58分頃に振幅が小さく継続時間の短い火山性微動が発生しました。微動発生後から12日明け方にかけて振幅の小さな火山性地震が一時的に増加しました。微動発生時の噴気の状態、空振計及び地殻変動データに特段の変化はありませんでした。震源はグラウンド火口周辺及び旧噴火口付近の浅い所に分布しました。

GPS連続観測では、前十勝観測点において62-2火口浅部の膨張を示すと考えられる変動が認められています。より広域の地殻変動を示す変化はありません。

火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められませんが、2006年からみられている62-2火口直下浅部の膨張を示す地殻変動は現在も続いていますので、火山活動の推移に注意してください。

三宅島 [火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)]

山頂火口からの噴煙高度は、火口縁上100~200mで経過しました。17日及び19日に実施した現地調査では、二酸化硫黄の平均放出量は、一日あたりそれぞれ1000トン、900トン(前回5月17日、400トン)で、やや多量の火山ガス放出が続いています。三宅村によると、山麓では時々やや高濃度の二酸化硫黄が観測されています。

全磁力連続観測では、火山体内部の熱の状況に大きな変化は見られませんでした。

火山性地震はやや少ない状態です。震源は山頂火口直下に分布しており、これまでと比べて特に変化はありませんでした。火山性微動は観測されませんでした。

GPS連続観測によると、2000年以降、山体浅部の収縮を示す地殻変動は徐々に小さくなりながら現在も継続しています。島の南北を挟む基線では、2006年頃から深部の膨張を示す伸びの傾向がみられています。

火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されますので、山頂火口周辺(雄山環状線内側)では噴火に対する警戒が必要です。また、火山ガス予報で火山ガスの濃度が高くなる可能性があると考えられる地域では火山ガスに対する警戒が必要です。

硫黄島 [火口周辺警報(火口周辺危険)及び火山現象に関する海上警報]

硫黄島の海上自衛隊からの連絡によると、島西部の旧噴火口(通称:ミリオンダラーホール)で、9日12時15分頃、白色の噴煙が約15m上がっているのが確認されました。その後13時30分頃に、旧噴火口の周囲数10mに泥が飛散しているのが確認されましたが、噴煙は確認されませんでした。これらの事象が確認された時間帯に、火山性地震や空振、火山性微動は確認できませんでしたが、ごく小規模な水蒸気爆発が発生したものと考えられます。その後、噴煙等の発生は確認されていません。硫黄島では、今年に入って、2月上旬、3月上旬及び4月上旬に、旧噴火口でごく小規模な水蒸気爆発が発生していますが、今回の噴火は前述の状況から、2012年2月上旬に発生した水蒸気爆発より規模が小さいものと考えられます。

2012年4月下旬から5月初めにかけて火山活動が活発化し、国土地理院の地殻変動観測では、急速な隆起の後に沈降を観測しましたが、その後、沈下傾向は鈍化し、現在はほぼ停滞しています。この期間、地震活動も活発となり、火山性微動も観測されましたが、その後、火山性地震や火山性微動の発生は低調となりました。今期間、火山性地震の発生回数は少なく、地震活動は静穏に経過しました。火山性微動は、22日に1回、23日に2回、また、単色型の火山性微動が26日、27日、28日及び30日にそれぞれ1回観測されました。継続時間は1分30秒から11分程度でした。火山性微動が観測された時間帯に、火山性地震の増加や空振、表面現象は認められませんでした。硫黄島で火山性微動が観測されたのは、2012年5月3日以来です。

阿蘇台東(阿蘇台陥没孔の東北東約900m)に設置してある遠望カメラは、今期間、機器の障害のため、島西部の阿蘇台陥没孔及び島北西部の井戸ヶ浜の噴気の状況は確認できませんでした。

硫黄島ではこれまでも1981-1984年(防災科学技術研究所等の水準測量と三角測量による)や2001-2002年に最大1mを超える隆起など顕著な地殻変動が観測されており、隆起が見られていた期間中の1982年と2001年には小規模な噴火が発生しています。一方、噴火前に必ずしも地震活動が活発化するとは限らず、地震観測が開始された1976年以降で見ても、1982年11月の阿蘇台陥没孔や2001年9月の翁浜沖で発生した噴火、2012年4月29日から30日の噴火と推定される事象以外は、ほとんどの噴火で事前に地震活動の活発化が認められませんでした。明治以降の記録に残る硫黄島の噴火はいずれも小規模な水蒸気爆発で、噴火地点は島東部の海岸付近及び井戸ヶ浜から阿蘇台陥没孔を経て千鳥ヶ原にかけての領域に集中しています。

硫黄島の島内は全体に地温が高く、多くの噴気地帯や噴気孔があり、過去には各所で小規模な噴火が発生しています。火山活動はやや活発な状態で推移しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されますので、2012年4月末に新たに噴気が確認された島北部や変色水がみられた北東沖、従来から小規模な噴火がみられていた島東部の海岸付近、島西部(井戸ヶ浜等)及び南東沖(翁浜沖)では噴火に対する警戒が必要です。

福徳岡ノ場 [噴火警報(周辺海域) 及び火山現象に関する海上警報]

海上保安庁海洋情報部、第三管区海上保安本部、海上自衛隊及び気象庁によるこれまでの観測によると、福徳岡ノ場付近の海面には長期にわたり火山活動によるとみられる変色水等が確認されています。今後も小規模な海底噴火が発生すると予想されますので、周辺海域では噴火に対する警戒が必要です。

阿蘇山 [火口予報(噴火警戒レベル1、平常)]

噴煙活動に特段の変化はなく、白色の噴煙が最高で火口縁上 400mまで上がりました。湯だまり量は5月下旬から減少し、6月中旬には3割となりましたが、降水の影響で7月下旬には9割まで増加しました(6月:3~7割)。湯だまりの表面温度2)も58~66℃(6月:67~73℃)でやや低下しました。湯だまりの中央付近で噴湯現象を確認しました。南側火口壁の温度2)は213~250℃(6月:246~260℃)で大きな変化はありませんでした。赤外熱映像装置による南側火口壁の温度分布には特段の変化はありませんでした。

孤立型微動および火山性地震はともに少ない状態で経過していますが、2012年2月頃からわずかながら増加傾向を示しています。孤立型微動の月回数は669回(6月:621回)、火山性地震の月回数は626回(6月:369回)でした。火山性地震の震源は、中岳第一火口付近のごく浅いところ、および中岳第一火口の北東約6km付近の深さ2~4km付近に分布しました。火山性微動は観測されませんでした(6月:4回)。

GPS連続観測では、火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。

10日に実施した現地調査では、二酸化硫黄の平均放出量は1日あたり400トン(5月:600~800トン)でした。

火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められませんが、火口内では土砂や火山灰の噴出する可能性があります。また、火口付近では火山ガスに注意してください。

霧島山(新燃岳) [火口周辺警報(噴火警戒レベル3、入山規制)]

新燃岳では、今期間、噴火は発生しませんでした(最後の爆発的噴火1)は2011年3月1日、噴火は2011年9月7日)。噴煙活動に特段の変化はなく、白色の噴煙が火口縁上200m以下で経過しました。

火山性地震の月回数は17回(6月:23回)と少ない状態で経過しました。火山性微動は観測されませんでした(6月:なし)。

国土地理院の広域的な地殻変動観測結果では、新燃岳の北西地下深くのマグマだまりへのマグマの供給に伴う地盤の伸びの傾向は、2011年12月初め頃から伸びの傾向が鈍化しました。2012年1月以降はほぼ停滞していましたが、「えびの」-「牧園」基線では5月頃から、「牧園」-「都城2」では6月頃からわずかに縮みの傾向が見られます。新燃岳周辺のGPS連続観測及び傾斜計では、火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。

新燃岳火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。噴火時には、風下側で火山灰だけではなく小さな噴石(火山れき)が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

噴火警報や霧島山上空の風情報に留意してください。

降雨時には泥流や土石流に警戒が必要です。降雨に関する情報に留意してください。

桜島 [火口周辺警報(噴火警戒レベル3、入山規制)]

南岳山頂火口では、24日19時15分に爆発的噴火が発生し、多量の噴煙が上がり、大きな噴石が4合目(南岳山頂火口より1,300~1,700m)まで達しました。南岳山頂火口で爆発的噴火が発生したのは、2011年2月7日以来です。昭和火口では、活発な噴火活動が継続しました。噴火の回数は76回(6月:73回)でそのうち爆発的噴火の回数は60回(6月:51回)でした。南岳山頂火口の爆発的噴火以降、昭和火口の爆発的噴火は一時的にやや増加し、25日に9回、26日に8回発生しました。7日05時31分の爆発的噴火に伴って大きな噴石が3合目(昭和火口から1,300m~1,800m)まで達しました。26日14時21分の爆発的噴火では、やや多量の噴煙が火口縁上3,200mまで上がりました。火砕流は、観測されませんでした。同火口では、夜間に高感度カメラで明瞭に見える火映を時々観測しました。

火山性地震は、少ない状態で経過しました。月回数は713回(6月:924回)でした。噴火に伴う火山性微動が発生しており、月回数は473回(6月:544回)でした。継続時間の月合計は56時間52分で6月(61時間32分)と変化ありませんでした。

4日、17日、18日、24日に実施した現地調査では、二酸化硫黄の平均放出量は1日あたり1,800～3,100トン（6月：1,800～3,600トン）と多い状態で推移し、31日に実施した現地調査では1日あたり5,200トンと非常に多い状態でした。

有村観測坑道の水管傾斜計（大隅河川国道事務所設置）では、2011年11月頃から山体がわずかに隆起する傾向が続いていましたが、2012年2月以降、停滞しています。南岳山頂火口の24日19時15分の爆発的噴火に前駆して、山体浅部が膨張源とみられるわずかな地殻変動が観測され、噴火後には急激な収縮が観測されました。

GPS連続観測では、2011年9月頃から桜島島内のわずかな伸びの傾向が続いていましたが、2012年2月頃から鈍化しています。また、国土地理院の地殻変動観測結果によると、始良カルデラ（鹿児島湾奥部）深部の膨張による長期的な伸びの傾向がみられます。

鹿児島地方気象台での観測では、月合計293g/m²（降灰日数9日）の降灰を観測しました。鹿児島県が実施している降灰の観測データから推定した火山灰の6月の総噴出量は69万トンでした。

昭和火口及び南岳山頂火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒が必要です。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石（火山れき）が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

爆発的噴火に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。また、降雨時には土石流に注意してください。

薩摩硫黄島【火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）】

硫黄岳山頂火口の噴煙活動はやや高い状態で経過しました。白色の噴煙が、最高で火口縁上800mまで上がりました。同火口では夜間に高感度カメラで確認できる程度の微弱な火映を22日に観測しました。

火山性地震の月回数は238回（6月：204回）と少ない状態で経過しました。火山性微動は観測されませんでした。（6月：1回）。

GPS連続観測では、火山活動に伴う特段の変化は認められませんでした。

火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね1kmの範囲では噴火に対する警戒が必要です。噴火時には、風下側で火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

諏訪之瀬島【火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）】

御岳火口では、爆発的噴火は発生しませんでした（6月：なし）。噴煙の最高高度は火口縁上400m（6月：300m）でした。同火口では夜間に高感度カメラで確認できる程度の微弱な火映を20～25日、28～29日に観測しました。

火山性地震は少ない状態で経過しました。A型地震の月回数は29回（6月：21回）でした。B型地震の月回数は123回（6月：116回）でした。24～25日に火山性連続微動が発生しました。火山性微動の継続時間の月合計は38時間5分（6月：132時間24分）と減少しました。

御岳火口では、今期間噴火は発生しませんでした。長期にわたり噴火を繰り返しています。

今後も火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

（火山の順は活火山総覧（第3版）による）

資料1 全国の火山の噴火警報及び噴火予報の発表状況のまとめ（平成24年8月6日現在）

(1) 主な活火山

| | 火山名 | 噴火警報及び噴火予報の発表状況 | 噴火警報及び噴火予報の発表履歴 |
|---------|---------|-----------------|--|
| 北海道地方 | アトサヌプリ | 噴火予報（平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） |
| | 雌阿寒岳 | 噴火予報（レベル1、平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） 2008年9月29日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年10月17日 噴火予報（平常） 2008年11月17日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年12月16日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年4月10日 噴火予報（レベル1、平常） |
| | 大雪山 | 噴火予報（平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） |
| | 十勝岳 | 噴火予報（レベル1、平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） 2008年12月16日 噴火予報（レベル1、平常） |
| | 樽前山 | 噴火予報（レベル1、平常） | 2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常） |
| | 倶多楽 | 噴火予報（平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） |
| | 有珠山 | 噴火予報（レベル1、平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） 2008年6月9日 噴火予報（レベル1、平常） |
| | 北海道駒ヶ岳 | 噴火予報（レベル1、平常） | 2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常） |
| | 恵山 | 噴火予報（平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） |
| 東北地方 | 岩木山 | 噴火予報（平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） |
| | 秋田焼山 | 噴火予報（平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） |
| | 岩手山 | 噴火予報（レベル1、平常） | 2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常） |
| | 秋田駒ヶ岳 | 噴火予報（レベル1、平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） 2009年10月27日 噴火予報（レベル1、平常） |
| | 鳥海山 | 噴火予報（平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） |
| | 栗駒山 | 噴火予報（平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） |
| | 蔵王山 | 噴火予報（平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） |
| | 吾妻山 | 噴火予報（レベル1、平常） | 2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常） |
| | 安達太良山 | 噴火予報（レベル1、平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） 2009年3月31日 噴火予報（レベル1、平常） |
| | 磐梯山 | 噴火予報（レベル1、平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） 2009年3月31日 噴火予報（レベル1、平常） |
| | 関東・中部地方 | 那須岳 | 噴火予報（レベル1、平常） |
| 日光白根山 | | 噴火予報（平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） |
| 草津白根山 | | 噴火予報（レベル1、平常） | 2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常） 2009年4月10日 噴火予報（レベル1、平常）切替 |
| 浅間山 | | 噴火予報（レベル1、平常） | 2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常） 2008年8月8日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年2月1日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年2月3日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2009年4月7日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年4月15日 噴火予報（レベル1、平常） |
| 新潟焼山 | | 噴火予報（レベル1、平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） 2011年3月31日 噴火予報（レベル1、平常） |
| 焼岳 | | 噴火予報（レベル1、平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） 2011年3月31日 噴火予報（レベル1、平常） |
| 乗鞍岳 | | 噴火予報（平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） |
| 御嶽山 | | 噴火予報（レベル1、平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） 2008年3月31日 噴火予報（レベル1、平常） |
| 白山 | | 噴火予報（平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） |
| 富士山 | | 噴火予報（レベル1、平常） | 2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常） |
| 箱根山 | | 噴火予報（レベル1、平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） 2009年3月31日 噴火予報（レベル1、平常） |
| 伊豆東部火山群 | | 噴火予報（レベル1、平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） 2011年3月31日 噴火予報（レベル1、平常） |

| | 火山名 | 噴火警報及び噴火予報の発表状況 | 噴火警報及び噴火予報の発表履歴 |
|-----------|----------|-------------------------|---|
| 伊豆・小笠原諸島 | 伊豆大島 | 噴火予報（レベル1、平常） | 2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常） |
| | 新島 | 噴火予報（平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） |
| | 神津島 | 噴火予報（平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） |
| | 三宅島 | 火口周辺警報 （レベル2、火口周辺規制） | 2007年12月1日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年3月31日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） |
| | 八丈島 | 噴火予報（平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） |
| | 青ヶ島 | 噴火予報（平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） |
| | 硫黄島 | 火口周辺警報（火口周辺危険） | 2007年12月1日 火口周辺警報（火口周辺危険） |
| | 福徳岡ノ場 | 噴火警報（周辺海域警戒） | 2007年12月1日 噴火警報（周辺海域警戒） |
| 九州地方・南西諸島 | 鶴見岳・伽藍岳 | 噴火予報（平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） |
| | 九重山 | 噴火予報（レベル1、平常） | 2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常） |
| | 阿蘇山 | 噴火予報 （レベル1、平常） | 2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常） 2011年5月16日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2011年6月20日 噴火予報（レベル1、平常） |
| | 雲仙岳 | 噴火予報（レベル1、平常） | 2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常） |
| | 霧島山（新燃岳） | 火口周辺警報 （レベル3、入山規制） | 2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常） 2008年8月22日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年10月29日 噴火予報（レベル1、平常） 2010年3月30日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年4月16日 噴火予報（レベル1、平常） 2010年5月6日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2011年1月26日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2011年1月31日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2011年2月1日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2011年3月22日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2012年6月26日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 |
| | 霧島山（御鉢） | 噴火予報（レベル1、平常） | 2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常） |
| | 桜島 | 火口周辺警報 （レベル3、入山規制） | 2007年12月1日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年2月3日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年2月20日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年4月8日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年7月14日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年7月28日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年8月28日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年2月2日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年2月19日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年3月2日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年3月10日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2009年4月24日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年7月19日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2010年9月30日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年10月13日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2012年3月12日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2012年3月21日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 |
| | 薩摩硫黄島 | 火口周辺警報 （レベル2、火口周辺規制） | 2007年12月1日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） |
| | 口永良部島 | 噴火予報（レベル1、平常） | 2007年12月1日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年1月25日 噴火予報（レベル1、平常） 2008年9月4日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年10月27日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年3月18日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年8月4日 噴火予報（レベル1、平常） 2009年9月27日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年10月30日 噴火予報（レベル1、平常） 2011年12月15日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2012年1月20日 噴火予報（レベル1、平常） |
| | 諏訪之瀬島 | 火口周辺警報 （レベル2、火口周辺規制） | 2007年12月1日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） |

注）噴火警報及び噴火予報の発表履歴欄には、平成19年12月1日の噴火警報・噴火予報及び噴火警戒レベルの運用開始からの経過を示す。この表では、主な活火山として、警報を発表している、または常時観測を行っている火山を示している。また、ここで示すレベルは噴火警戒レベルである。

(2) その他の活火山

以下の活火山では平成 19 年(2007 年)12 月 1 日に噴火予報(平常)を発表し、その後、火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

| | 火 山 名 |
|---------------|--|
| 北海道地方 | 知床硫黄山、羅臼岳、天頂山*、摩周、雄阿寒岳*、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山 |
| 東北地方 | 恐山、八甲田山、十和田、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳 |
| 関東・中部地方 | 高原山、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、弥陀ヶ原、アカンダナ山 |
| 伊豆・小笠原諸島 | 利島、御蔵島、ペヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、嬭婦岩、西之島、海形海山、海徳海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山 |
| 中国・九州地方及び南西諸島 | 三瓶山、阿武火山群、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島、西表島北北東海底火山 |

* 天頂山と雄阿寒岳は、平成 23 年 6 月 7 日に活火山として選定され、噴火予報(平常)を発表した。